

平成20年度における随意契約見直し計画のフォローアップ

平成21年7月  
独立行政法人住宅金融支援機構

1. 随意契約見直し計画と平成20年度に締結した契約の状況

(単位：件、億円)

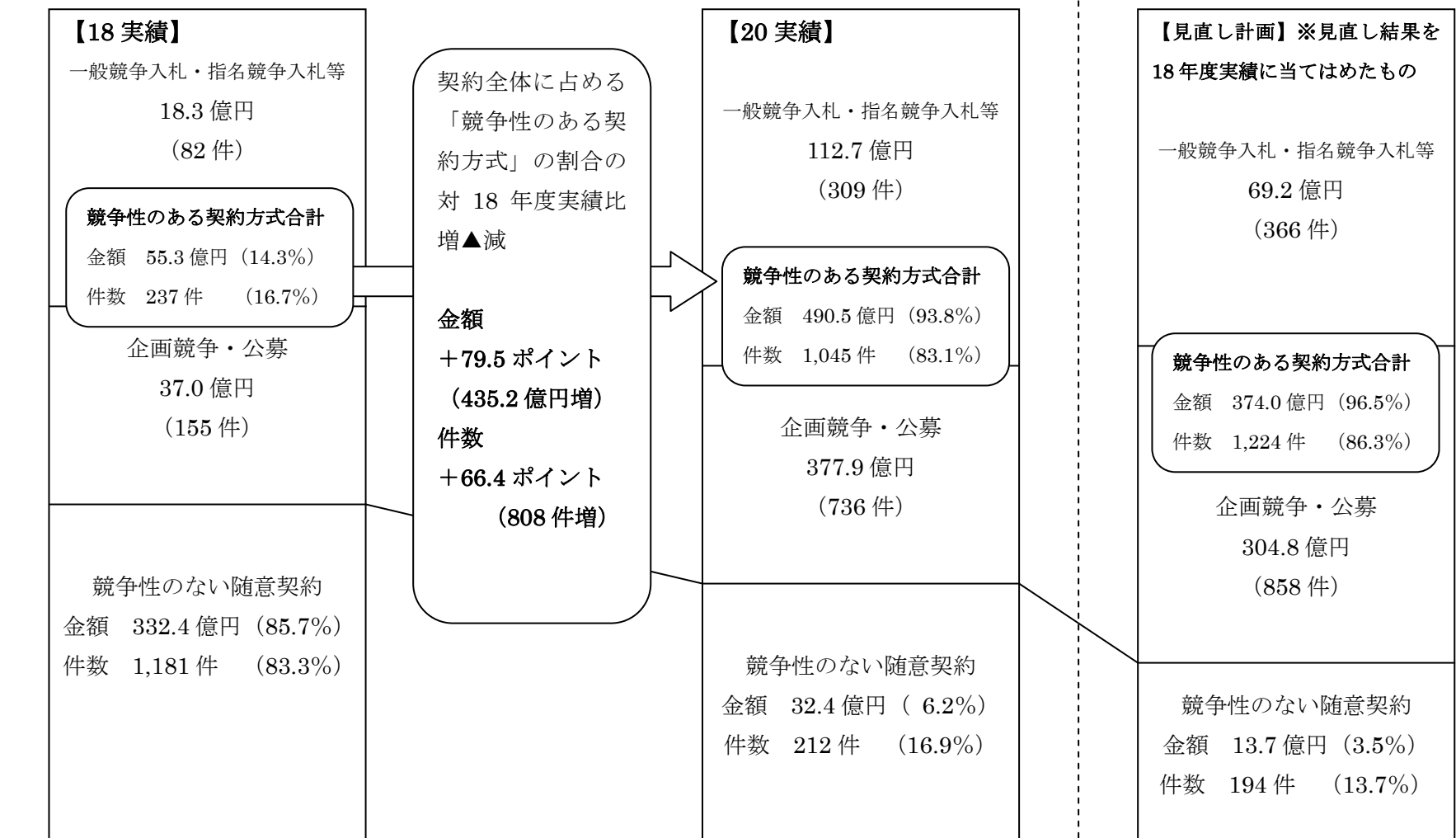
	平成18年度		平成20年度		比較増△減		見直し計画	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
競争入札等	(5.8%) 82	(4.7%) 18.3	(24.6%) 309	(21.5%) 112.7	(276.8%) 227	(515.9%) 94.4	(25.8%) 366	(17.9%) 69.2
企画競争・公募	(10.9%) 155	(9.5%) 37.0	(58.6%) 736	(72.3%) 377.9	(374.8%) 581	(920.8%) 340.8	(60.5%) 858	(78.6%) 304.8
競争性のある 契約(小計)	(16.7%) 237	(14.3%) 55.3	(83.1%) 1,045	(93.8%) 490.5	(340.9%) 808	(786.9%) 435.2	(86.3%) 1,224	(96.5%) 374.0
競争性のな い随意契約	(83.3%) 1,181	(85.7%) 332.4	(16.9%) 212	(6.2%) 32.4	(△82.0%) △969	(△90.3%) △300.0	(13.7%) 194	(3.5%) 13.7
合計	(100%) 1,418	(100%) 387.7	(100%) 1,257	(100%) 522.9	(△11.4%) △161	(34.9%) 135.2	(100%) 1,418	(100%) 387.7

(注1) 計数は、それぞれ四捨五入しているため、合計において一致しない場合がある。

(注2) 比較増△減の( )書きは、平成20年度の対18年度伸率である。

○ 「平成20年度」の競争性のない随意契約には、平成19年4月の旧(財)公庫住宅融資保証協会業務の承継により住宅金融支援機構が引き続き締結することとなった、求償債権の管理回収に係る「債権管理回収業務委託」(9.0億円)及び団体信用生命保険加入者あてに送付する特約料振替のご案内等の「後納郵便」(2.7億円)を含んでいる。

(参考) 図表 随意契約見直し計画と平成 20 年度に締結した契約の状況



(注 1) 「一般競争入札・指名競争入札等」には、不落・不調の随意契約を含む。

(注 2) 「不落・不調の随意契約」は、平成 18 年度は「競争性のない随意契約」に、平成 20 年度は「競争入札等」に整理している。

2. 平成 20 年度において、随意契約から一般競争入札等、企画競争、公募に移行した主な契約

① 一般競争入札へ移行

(ア) 情報システムの改修、運用・保守 72.5 億円

(イ) 複写機・複合機保守 1.0 億円

② 企画競争へ移行

(ア) 引受並びに募集取扱契約 (MBS) 47.7 億円

③ 公募へ移行

(ア) 機構融資に係る業務の委託 98.4 億円

(参考)

1. 契約形態別応札者数 (平成 20 年度)

契約形態 応札者数	一般競争入札		指名競争入札		企画競争		公募	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
2 者以上	223	73%	0	0	66	86%	649	98%
1 者以下	81	27%	0	0	11	14%	10	2%
合 計	304	100%	0	0	77	100%	659	100%

2. 一者応札、一者応募に係る改善方策 ([http://www.jhf.go.jp/about/indication/teikyou/pdf/zuii\\_minaoshi\\_12.pdf](http://www.jhf.go.jp/about/indication/teikyou/pdf/zuii_minaoshi_12.pdf))